## 令和3年度 こども発達支援センターぴーち 児童発達支援事業 事業所内評価結果

|             |      | チェック項目  | はい   | どちらとも      | 無回答 | いいえ      | 改善目標・工夫点   |
|-------------|------|---|------|------------|-----|----------|--|
| 環境          | 1    | 支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか?                             | 100% | いえない<br>0% |     | 0%       | ■ 配置其進は十分に満たしているので、メンバーや人数に応じて部屋を使い分けたり 活動を分けたりして 課題やプログ   |
| % / 体制整備    | 2    | 職員の配置数は適切であるか?  | 92%  | 8%         |     | 0%       | 配置基準は十分に満たしているので、多職種連携を意識しながらメンバーを調整し、支援に入るようにしている。有給などの調整もしながら、今後も多面的な視点を大切に職員体制を整えていく。   |
|             | 3    | 施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか?                                 | 92%  | 8%         |     | 0%       | 発達の特性上、危なくないようにパリアフリーが適した子もいれば、社会生活に対応できるスキルを身につけるためにはパリアフリーでない方が良い子もいる。施設内外の環境を上手く利用し、その子に応じた適切な対応、支援を心がけていく。   |
| 業務改善        | 4    | 業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参加しているか?                        | 83%  | 17%        |     | 0%       | モニタリング検討会議、職員会議でなるべく全員の職員が情報を共有できるように心掛けている。朝のミーティングや申<br>し送りノートなども活用し、その都度共有する意識を常に持っている。   |
|             | (5)  | アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか?                     | 100% | 0%         |     | 0%       | アンケートは毎年必ず実施しているので、今後はSNSや保護者の生の声なども意識して、業務改善を図っていく。また、<br>日頃の保護者との会話を大切にし、ニーズを敏感に察知できるように意識している。  |
|             | 6    | この自己評価の結果を、施設だよりやホームページ等で公開していく予定であるか?                        | 92%  | 8%         |     | 0%       | 今年度も3月にホームページ上で公開予定。びーちだよりでも保護者の方に発信していく。  |
|             | 7    | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか?                              | 83%  | 17%        |     | 0%       | 実習生や見学者、ボランティアの受け入れを随時行い、第三者の目を常に入れている。地域に開かれた施設を心掛けることで、地域の中での役割を意識し、業務改善に役立てられるように意識している。  |
|             | 8    | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか?                                 | 92%  | 8%         |     | 0%       | 外部研修受講後には職員間で伝達研修を実施している。また、支援の仕方・福祉の考え方・専門分野の知識などについて<br>も、職員会議の中で、毎月ひとりずつ分担をし、施設内研修という形で取り入れている。   |
| 適切な支援の提供    | 9    | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援<br>計画を利用しているか? | 100% | 0%         |     | 0%       | 見学・契約時にアセスメントをなるべく丁寧に行えるように心掛けている。各職種からの視点も含め、今後も客観的にアセスメントを行えるように努力していく。  |
|             | 10   | 活動プログラムの立案をチームで行えているか?  | 92%  | 8%         |     | 0%       | グループ学習や集団擦育など、その都度チームで集まり、各職種の視点も含め、案を出しあえるように時間をとっている。今後も、チーム内で協力できるように環境を整えていく。  |
|             | 11)  | 活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか?                                     | 92%  | 8%         |     | 0%       | コロナの影響もあり、外部の活動・密になりすぎる行事は控えめになってしまったが、その中でできることを意識して取り組んできた。今後もわくわくできるような活動内容や発達課題にあった療育内容を工夫して、臨機応変に取り入れられるようにしていく。  |
|             | 12   | 平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか?                         | 100% | 0%         |     | 0%       | 時間・人数・メンバーに合わせ、課題を組み込んでいる。今後も発達に合わせた課題を組み込めるように意識していく。   |
|             | 13)  | 支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか?                     | 92%  | 8%         |     | 0%       | 毎日、朝のミーティング、児発内ミーティングを行えている。今後も職員間で打ち合わせをし、全員が把握できるように<br>していく。また、放デイ職員に手伝ってもらうこともあるので、情報の共有は常に意識して図っている。  |
|             | (14) | 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなえているか?                   | 92%  | 8%         |     | 0%       | その日の子供の様子だけでなく、保護者からの話も含めて振り返りを行っている。今後も、漏れがないように丁寧な対応<br>を心掛けていく。   |
|             | (15) | 日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか?                       | 100% |            |     |          | 毎日個別の記録を取っている。状況によっては、こどもの様子、保護者からの話と別々に対応した職員が記録に記すよう<br>にしている。   |
|             | 16   | 地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか?                               | 34%  | 66%        |     | 0%       | コロナの影響もあり、リスク管理的に例年以上に交流する機会を減らしてしまったが、社会情勢を踏まえてオンラインなども合めて、新たな試みをしていきたいと考えている。  |
|             | 17)  | 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しに役立てているか?                           | 100% | 0%         |     | 0%       | 全員の保護者とモニタリングや個別相談を行なえている。今後も子どもの発達課題・保護者のニーズに合わせ、支援計画を立てられるように、また、必要に応じて随時相談に応じられるようにしていく。  |
|             | (18) | ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか?                                     | 92%  | 8%         |     | 0%       | 全員がガイドラインを知った上で、子どもと関わるようにしている。今後もガイドラインを時折振り返り、自分たちの方向性を意識できるようにしていく。   |
|             | 19   | サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか?                       | 92%  | 8%         |     | 0%       | 担当者会議には必ず参加するようにしている。コロナの影響もあり、電話やオンラインでのやりとりも増えたが、今後も<br>相談支援や他事業所との連携は意識して行っていく。   |
| 関           | 20   | 保育園・幼稚園との情報共有や連絡調整などは、随時行えているか?                               | 83%  | 17%        |     | 0%       | 保育所等訪問支援事業や教育委員会への参加なども行っているため、比較的保育園・幼稚園との連携は行えている。今後<br>も保育園・幼稚園と情報共有や連携を図っていく。  |
| 係機関や保護者との連携 | 21)  | 小学校や特別支援学校との間で、移行に向けた支援内容などの情報共有や相互理解を行えているか?                 | 92%  | 8%         |     | 0%       | 教育支援委員会や該当児童の担当者会議にも参加しているため、各学校とも比較的情報共有・引き継ぎができている。今<br>後も意識して連携を図っていく。  |
|             | 22   | 母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか?                      | 92%  | 8%         |     | 0%       | 教育委員会、市役所、保健センター、児童センターからの委託事業などもあり、比較的連携を図ることができている。今<br>後も丁寧な連携を意識し、地域の中での役割を担っていけるようにする。  |
|             | 23   | 他の事業所や専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか?                                 | 92%  | 8%         |     | 8%       | 大学や関係機関と連携をし、zoomなどの研修も受ける機会を設けている。学んだ内容に関しては、施設内での伝達研修として職員間でも共有できるようにしている。   |
|             | 24)  | 地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか?                                     | 92%  | 8%         |     | 0%       | 毎回参加し、地域の中への発信や提案なども行えているので、今後も継続して参加できるようにしていく。   |
|             | 25)  | 日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあえているか?                               | 92%  | 8%         |     | 0%       | 発達や課題について、お家の方に聞いた話も含めて支援に役立てている。日々の振り返りだけではなく、お家の方の希望<br>や必要性を確認しながら個別に話をする時間もとるように心掛けている。  |
|             | 26   | 保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか?                                   | 100% | 0%         |     | 0%       | 今年度も市の後援のもと、ベアレントプログラムとベアレントトレーニングを実施することができた。また、作業療法の<br>勉強会なども行うことが出来た。  |
| 保護者への説明責任等  | 27)  | 運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか?                           | 100% | 0%         |     | 0%       | 基本的には契約時に行っている。家族間での共有も引き続き行ってもらうように働きかけていく。   |
|             | 28   | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか?                    | 83%  | 17%        |     | 0%       | 相談内容を職員間で共通理解し、保護者に対して全員が同じ対応をできるように心がけている。また、就学時や幼稚園入園時などは、関係機関とも連携を図り、加配申請をつけるかどうかなども含め、個々の相談に応じられるように意識している。  |
|             | 29   | 保護者同士の連携を意図的に用意できているか?  | 83%  | 17%        |     | 0%       | 保護者通園日やペアレントプログラム等を通して、ママ友ネットワークもひろがってきている。保護者同士が気軽に話せる<br>雰囲気と話題作りを心掛け、上手に仲介役に入れるように意識して関わっていく。   |
|             | 30   | 子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか?                                 | 92%  | 8%         |     | 0%       | 日々のやりとりや関係性を大切にしているからか、苦情にはならず、お互いに話せる関係を保つことが出来ている。今後<br>も保護者からの声に丁寧に対応し、苦情になる前に対応できるようにしていく。   |
|             | (31) | 施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか?                              | 100% | 0%         |     | 0%       | びーちだよりや利用申込書で早めの周知を心がけている。 今年度は公式ラインや個別 ラインも試行的に取り入れ、情報を<br>もれなく伝達できるように工夫している。  |
|             | 32)  | 個人情報に十分配慮できているか?  | 100% | 0%         |     | 0%       | 毎年個人情報の同意書をとり、職員間でも把握しやすいようにリストとして掲げている。   |
|             | 33   | 緊急時や防犯面・感染症マニュアルなどの周知はなされているか?                                | 92%  | 8%         |     | 0%       | 基本的には契約時に全員に伝えるように心がけている。家族間でも情報共有してもらえるように、引き続き働きかけていく。また、時期によって流行する感染症について事前に共有する機会を設ける。   |
| 非常時等の対応     | 34)  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行えているか?                                   | 100% | 0%         |     | 0%       | 火事・地震などに備え、毎月避難訓練を行うようにしている。決まった室内で行うことが多かったので、いろんな場所で<br>も行っていくことを検討していく。   |
|             | 35)  | 虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか?                      | 100% | 0%         |     | 0%       | 毎年、職員向けに研修を行い、理解の徹底を図っている。また、虐待をする心理につながらないように、メンタルヘルス<br>の研修も取り入れている。   |
|             | 36   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応をしているか?                         | 100% | 0%         |     | 0%       | 契約時にアレルギー対応をする必要のある子には医師の対応指示書を提出してもらっている。今後もアレルギーの状況確認を毎年行い、間違いがないように対応していく。  |
|             | 37)  | ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか?                                   | 100% | 0%         |     | 0%       | <br>  ヒヤリハット、大きなけが・事故に繋がってしまった場合にはヒヤリハット集に記入し、朝のミーティングでも情報共有   |
|             |      |   |      |            |     | <u> </u> | The state of the s |